



関西水素サプライチェーン構想実現プラットフォームの取組みについて

令和5年3月23日
エネルギー検討会

1. 令和4年度の取組内容

関西圏における将来の水素サプライチェーン構想の実現に向けて、産学官での情報共有と意見交換・交流による機運醸成を図るため、標記プラットフォーム（令和3年2月設立）にて以下の取組みを実施。

(1) 事業者セミナー

国の政策動向や山梨県のCO₂フリー水素活用事業、プラットフォーム会員の取組み等の情報共有と意見交換を行う公開セミナーを開催。

日時：令和4年9月13日（火）15～17時（参加：91事業者、163名）



(2) 施設見学会

将来の水素サプライチェーンに関連するプロジェクトを見学。

① 液化水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証施設

実施日：令和4年11月10日（木）（参加：10事業者、16名）

- ・川崎重工業株式会社神戸工場 液化水素運搬船
- ・神戸空港島 液化水素荷役実証ターミナル



② 定置型燃料電池を活用した再エネ電力活用実証施設

実施日：令和4年11月18日（金）（参加：10事業者、20名）

- ・パナソニック株式会社草津工場

RE100ソリューション実証施設



(3) ダイアログ

テーマを「今後の水素供給システムのあり方について」と設定。商用FCトラック等大規模需要に対応する水素ステーションや、多様な水素の利活用形態に向けた小型容器による供給システムに関する取組み等について、情報共有と意見交換。

日時：令和5年2月27日（月）15～17時（参加：31事業者、71名）



2. 令和5年度の前倒

取組み	回数（予定）
事業者セミナー	1回
施設見学会、ダイアログ	4回